

しゃきょう
「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

ホームページアドレス
<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/>



編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町 2-1
TEL.046-824-3435
046-821-1301
FAX.046-827-0264



(撮影：山田 俊宏様)

令和五年の新春を迎え、あけましておめでとうございます。
昨年を振り返りますと、例年と変わらずいろいろなことがありました。新型コロナウイルス感染症は、収束の見通しがつかず、我々の日常生活を脅かしています。
これからは、皆様と新しい生活様式を守り支え合いながら、温かい気持ちを持って努力、協力していかなければいけないと思います。
日常生活においても健康を第一にして、無理をせず心にゆとりを持って過ごしていきたいものです。
今年もよろしくお願いいたします。

社会福祉法人横須賀市社会福祉協議会 会長 鈴木立也

共同募金へのご協力ありがとうございました

～「つながりをたやさない社会づくり —あなたは一人じゃない—」のために～

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける状況は変わらず、コミュニケーションが取りづらい状況下においても、多くの皆様のあたたかい“たすけあい”の気持ちに支えられ、たくさんのご支援により、共同募金運動を進めることができました。

皆様からお預かりした大切な寄付金は、住み慣れた町で誰もが安心して暮らしていくため、横須賀市や県内の福祉活動をはじめ、災害で被災された方々やコロナ禍で生活に困窮されている方々への緊急支援活動など多岐にわたる事業に活用されます。



『よこすか社協だより』は、みなさまからの賛助会費ならびに共同募金配分金を財源として発行しています。

赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました



(左から柳原 りかさん、佐藤 愛依さん、榎本 隆司支店長、斎藤 陸さん)

共同募金運動への
取り組みのご紹介

～かながわ信用金庫 栄町支店～

共同募金のシンボルである赤い羽根を「かながわ信用金庫栄町支店」の皆様に着用していただき、共同募金のPRに多大なるご協力をいただきました。



(窓口の様子)

インタビュー

柳原 りかさん、佐藤 愛依さん、斎藤 陸さんにお話をお伺いしました

Q 赤い羽根共同募金(以下、共同募金)を知っていますか。また、共同募金に対しての何かイメージはありますか。

A 共同募金について、もちろん知っています。色々な募金がある中で、募金といえば“赤い羽根”というイメージがあります。

駅や商店街などでも行われていますが、住んでいる町内でもその時期に募金活動が行われていて、町内の役員をしていたときにご家庭を訪ねても快く寄付をしてくださりました。

Q 職場で赤い羽根を着用してどう感じましたか。ご自分の気持ちに何か変わったこと等ありますか。

A 赤い羽根を身に着けることによって、今までよりも共同募金や福祉に対する意識が高まりましたし、気持ちが引き締まりますね。

また、私たちが積極的に赤い羽根をつけることによって、寄付や共同募金の認知度をさらに上げられればと思います。

Q 赤い羽根を着用して、何かお客様から反応がありましたか。

A 取引先の方に「さすが地域に密着した信用金庫ですね。」とお褒めの言葉をいただきました。窓口では紺色の制服に赤い羽根が映えるので、お迎えするお客様の視線が赤い羽根に向けられているのを感じています。また、お客様との会話の一つにもなっています。

Q お預かりした募金がどのように活用されているか知っていますか。

A 福祉活動や災害支援に活かされているんですね。また、高齢者の支援に役立てられているイメージもありますね。



◆赤い羽根豆知識

“赤い羽根”はいつ登場したの?

「赤い羽根」が共同募金運動に登場したのは運動開始後2年目の昭和23年で、昭和27年には共同募金運動の統一シンボルとして用いられるようになりました。

赤い羽根は、日本国中の人々の胸に飾られ、製造が間に合わないほどの大反響でした。



【災害義援金受付中】

共同募金会では、国内で発生する災害に対して、毎年実施している赤い羽根共同募金だけでなく、支援金・義援金などさまざまな形で災害・被災地支援活動を実施しています。

神奈川県共同募金会横須賀市支会事務局の窓口では、義援金を受付けています。

現在、受付中の義援金は、神奈川県共同募金会のホームページでご確認ください。

<http://www.akaihane-kanagawa.or.jp/>

あなたのまちの地区社協

～シリーズ第16回～ 安浦地区社会福祉協議会

合言葉は「ちょっとだけお節介なおじさんとお婆さんになろう！」

安浦地区社会福祉協議会 会長 瀧野 英子

<地域の特徴>

安浦地区は、横須賀中央駅からしばらく東南に進んだ国道16号を挟み、その両側に位置しています。大正12(1923)年に完成した埋め立て工事により誕生したそうです。聖徳寺坂下バス停前の安浦公園内に、この大工事で犠牲になった方々の「殉難者供養塔」が建っています。安浦の名はこの地の埋め立て事業者である安田保善社(現安田不動産)の「安」をとって付けられたといえます。

現在、安浦地区の世帯数は1,592ですが、他の地区の様子と違わず高齢化が進み、地域の田戸小学校へ通う児童の姿も少なくなっています。国道沿いは、以前商店街として賑わっていましたが、数店舗を除いてシャッターが閉まっているのは、昭和の時代を知るものとしては淋しい気がします。

安浦地区社会福祉協議会は、民生委員児童委員、社会福祉推進委員が中心となり、「ちょっとだけお節介なおじさんとお婆さんになろう！」を合言葉に、コロナ禍で活動制限はありますが、地域の福祉活動を進めています。

<主な活動>

<男性の料理教室>

安浦社協全体の活動として「男性の料理教室」を開いています。年4回、安浦コミュニティセンターで行っていますが、毎回15人程度男性の参加があります。参加した男性は「町内を超えて懐かしい人に会えるとても貴重な場になっています」と話しています。最近はコロナ禍のため会食はできませんが、写真のようお弁当にして持ち帰っていただいています。皆さんなかなか手馴れていて、準備、調理、片付けはいつもスムーズに進んでいきます。

<いきいきサロン あじさいの会>

安浦地区社協では、「いきいきサロン」の取り組みを行っています。年9回開催、200円会費で10時から12時まで活動していますが、毎回盛況です。写真は牛乳パックと古布を使った「眼鏡ケース」づくりに挑戦している様子です。



慣れた手つきで主夫の味



美味しそうにできました!



紙パックと古布で眼鏡ケースづくり

<市社協からのコメント>

「ちょっとだけお節介なおじさんとお婆さんになろう！」という合言葉はとても素敵な言葉だと思います。コロナ禍で活動に制限がかかる中でも、開催方法を工夫して、活動を継続しているのは素晴らしいです。人と人が集まれる場は、今となっては貴重な場となってしまいましたが、今後の状況も見ながら楽しく続けていきましょう。

社会福祉推進委員として横須賀の地域福祉を進めませんか。

市社協では、市民が共に生き、支え合い、それぞれが自立した生活を送ることができる地域づくりを行うため、町内会・自治会、民生委員・児童委員（以下「民生委員」）、地区社協の協力を得て、各地域に社会福祉推進委員を配置しています。

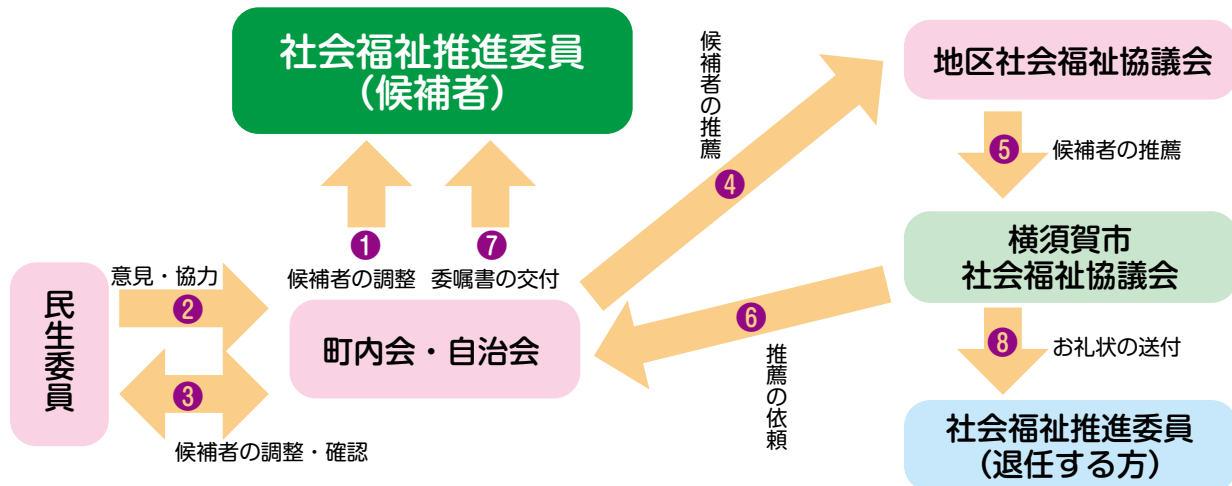
現在の社会福祉推進委員制度は、昭和23（1948）年に全国で初めて「社会事業協力員制度」として創設してから70年あまりが経っています。

おおむね70世帯から100世帯を単位に1人置くこととし、現在は1,673人の社会福祉推進委員が、地区社協の一員として各地域で高齢者等の見守り活動をはじめ、「民生委員の活動へ協力」「町内会・自治会活動へ協力」、ふれあいサロンや子育てサロンの企画・運営、赤い羽根募金などに取り組んでいます。

社会福祉推進委員の一斉改選は、3年ごとに行われ、今回は令和5年4月1日です。

推薦から委嘱までの流れ

地域福祉を進めていくには、町内会・自治会、民生委員、地区社協の三者の相互理解と協力関係が必要不可欠です。このため、社会福祉推進委員の推薦に当たっては、「地区社協会長が（市社協会長へ）推薦する者は、当該地域の町内会・自治会長が担当区域の民生委員の意見を聴き、その協力を得て推薦した者」としています。また、解任の手続きについても同様です。



民生委員・児童委員の一斉改選が行われました

民生委員の一斉改選は全国で3年ごとに行われ、横須賀市でも、各町内会・自治会から推薦された535人（定数584人・再任含む）が、令和4年12月1日に厚生労働大臣・横須賀市長から委嘱されました。

民生委員とは

地域を見守り、地域住民の身近な相談相手、専門職へのつなぎ役です

民生委員は、それぞれの担当区域において、自らも地域住民の一員として、高齢者や障害のある方の安否確認や見守り、子どもたちへの声掛けなどを行っています。

医療や介護の悩み、妊娠や子育て中の不安、失業や経済的困窮による生活上の心配ごとなど、さまざまな相談に応じ、必要な支援が受けられるよう、行政や地域の専門機関等へのつなぎ役となります。

全国で約23万人の民生委員が活動しています。

<民生委員・児童委員に関するお問い合わせ>

- 横須賀市民生局福祉子ども部福祉総務課
- 横須賀市民生委員児童委員協議会(市社協内)

Tel 822-8245

Tel 821-1301



神奈川県民生委員児童委員協議会
キャラクター「みんびょん」

第15回

あんしんセンターレポート



手続きや金銭管理等で困っている方をサポートします!!

～日常生活自立支援事業について～

日常生活自立支援事業では、知的障害、精神障害や軽度認知症などによって自ら判断することが難しい方のために、専門員が支援の内容（金銭管理の助言や説明、生活費に係る費用の支払い、福祉サービスの利用手続き、郵便物の確認等）を考え、生活支援員が訪問してサポートをしています。



家賃の支払いを忘れてしまうことが多くて困ってます。

そんな時は、日常生活自立支援事業におまかせ！生活支援員が、家賃の支払いや光熱水費の口座振替の手続きを手伝ったり、通帳残高のチェックを一緒にします!! 忘れてしまう不安を一緒に解消しましょう!



家に届いた書類の内容を理解するのが、難しい。手続きが必要みたいだけど、わからない。

生活支援員と一緒に書類を確認して、わかりやすく説明します!一緒に確認して、正しい手続きを任せられるよ!!



ご相談、お問い合わせについては
あんしんセンター (821-3605) へお電話ください。

※このサービスを利用するご本人の利用希望が必要です。
ご本人と市社協が直接契約させていただきます。
契約審査、収支や生活状況の確認、支援計画の作成をしますので、契約までお時間をいただいています。

★団体(6団体)
㈱マスタ、㈱イノウエ、㈱エイヴイ(一財)電力中央研究所、㈱アイビーコンサルティング、ボランティアグループ華雅会



★個人(68人)
須山佳行、須山亜耶、須山莉緒、須山柚莉、三小田博文、三小田道子、大内正雄、青木清、永野昭子、岡本基明、堀合幸子、徳永淑子、山下由美子、関本貴子、山岸幸子、岸岳、岸里帆、岸美千代、富澤明、平野友康、平野由紀、山崎晴海、益戸努、榎熊教幸、榎熊美智代、岡田卓三、熊谷節子、岩田恭宗、岩田勝江、栗田百合子、江藤智子、泉田桂子、平野昭弘、平野徳子、渡辺繁子、田嶋敏彦、鳥山佐代子、北川しん、杉野春美、菱沼和幸、篠宮留久、斉藤宣行、横須賀市民生局福祉こども部管理職会、稲葉抄子、稲葉優子、宮本隆和、宮本和子

令和4年8月1日～令和4年11月30日
〈順不同・敬称略〉
掲載させていただきます。

賛助で参上!
社協活動応援団



☆加入方法☆

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール等でお伝えください。かながわ信用金庫と連携専用金庫の振込用紙を交付させていただきます。
*個人会員 二日 5000円
*団体会員 二日 10000円
*会費は年度会費(4月～3月)となっております。口座は何口でも結構です。
〒238-0041 本町2-1 総合福祉会館2階
横浜都市社会福祉協議会 総務課
TEL (821) 1301
FAX (827) 0264
E-mail shakyo@wg7.so-net.ne.jp

賛助会員のご紹介

年金のお受け取りは「かなしん」へ



ねんきん定期500
好評お取扱い中!

詳しくはこちら▼



災害時ボランティアセンターコーディネーター養成講習会 災害時ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました

10月30日(日)総合福祉会館で開催した「災害時ボランティアセンターコーディネーター養成講習会」で30人が受講しました。災害により被災地となったとき、災害時ボランティアセンターが設置されます。そこでは、ボランティア活動希望者と支援を必要とする被災者を結ぶ「コーディネーター」が重要な役割を担うため、講習会ではコーディネーターに必要な知識や技術を学びました。

また、11月20日(日)には、同じく総合福祉会館で「災害時ボランティアセンター設置運営訓練」を実施し、コーディネーター養成講習会修了者をはじめ、ボランティア役を担う市民や横須賀災害ボランティアネットワーク会員、横須賀市、市社協職員など約60人が参加しました。

この訓練は災害時ボランティアセンターのシミュレーション訓練で、ボランティアの受付から被災者の支援ニーズとのマッチング、活動場所(港南地区ボランティアセンター協力)への移動、活動終了後の報告までの流れを確認しました。

また、災害時にボランティアの登録から活動までの動きがスムーズにいくよう、ICT(Information and Communication Technology: 情報通信技術)のシステムを導入した場合の流れについて、かながわ災害情報連絡会 吉田 見岳 氏より講演をいただきました。

被災時に備え、ボランティア登録から活動までの時間短縮に向けた取り組みとして、横須賀市も令和5年度にICTを導入する方向で計画を進めています。



「よこすか愛しているかい?」

知れば知るほど楽しい横須賀散歩

vol.9 「吉倉町」の由来

「吉倉町」は昭和25年1月1日から逸見の小字であった「吉倉」を町名にして誕生しました。「吉」は「凶」の反対語で、「祝うべし、慶ぶべし」という意味であります。

海岸線でよく見かけるものとして、ヨシヤアシという植物があります。関西ではアシ、東国ではヨシと呼び、この植物(ヨシ)に縁起の良い「吉」の字を当てたと思われます。「倉」は物をしまっておく場所の他に、自然の岩が多い場所を表します。

JR横須賀線が近くを走る「吉倉公園」は、海上自衛隊の基地に面し海辺の植物と岩肌が見え、「吉倉町」の名前の由来が感じられます。

また、吉倉公園には芥川龍之介の短編小説「蜜柑」の文学碑があります。芥川龍之介が自宅の鎌倉から勤務地の横須賀まで、横須賀線で通勤する時の情景を、吉倉の街を舞台に描いています。

JR横須賀駅は全国でも珍しい駅です。まず、階段がない、バリアフリーの駅です。そして、一番線がありません。プラットフォームの柱には、線路のレールが利用されています。

吉倉公園からJR横須賀駅へかけて、こういった所を見ながら散歩すると、知られていない横須賀を再発見できます。

「よこすか歴史の交差点」 齋藤秀一

*「よこすか歴史の交差点」は、歴史愛好家たちを中心に市民が集うサークルです。*歴史には諸説あります。



吉倉公園に設置されている「蜜柑」の文字碑



受講生 中高年のためのパソコン教室
募集中 入校随時受付中! 個別講習も受付!

感染症防止対策を実施していますのでご安心ください



富士通オープンカレッジ横須賀校

お問い合わせ

TEL. 046-838-0402

お気軽にお電話下さい



【主催】株式会社アド・マインド

「回転すし」
*登録ボランティア
布おもちゃグループ
ポケット製作



よこすかボランティアセンター

場所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館4階
開所 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
 (土・日曜日と祝日は休み)
電話 (821)1303・(825)0017 / FAX(824)8110
E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>



ウイズコロナでキックオフ!こんな、あんなボランティア!新しい仲間を求めて!

日揮社会福祉財団支援事業

第6回 ボラ連 キックオフフェスタ

減っては増え、増えてはまた減って、先の見通しが立ちにくい本当にしつこい新型コロナ!そのようななかですが、コロナと向き合いながら、感染対策を万全に整えて、第6回ボラ連キックオフフェスタを行います。

ボランティア活動の原点は、「どこまで当事者の方に寄り添うことができるか?」が命題であり、このことは、日頃から多くのボランティアの方たちが悩み、探求しながら活動を行っています。

日常が奪われて、当事者の方との接触もままならない時間が経過しました。新たな年を迎え、新型コロナによってできなかったことに「キックオフ!」。新たな出会いを求めて、会場でお会いできることを楽しみに皆さまのお越しをお待ちしています。

※横須賀市ボランティア連絡協議会は、よこすかボランティアセンターに登録する個人330人、121団体で活動を行なっています。

(令和4年11月30日現在)

日時 : 令和5年3月4日(土) 10時20分～15時30分(予定)
場所 : 総合福祉会館5階全フロア
内容 : ボランティア団体や障害者団体の活動紹介・交流(入場自由)
主催 : 横須賀市ボランティア連絡協議会

入場
自由



第5回ボラ連キックオフフェスタの様子



運営ボランティア大募集!

ボラ連キックオフフェスタで当日のお手伝いをしていただく方を募集します。

活動内容 : 会場案内・チラシ配布等

申し込み期限 : 令和5年2月8日(水)

詳しくは、よこすかボランティアセンターまで、お問い合わせください。

当事者組織化助成事業助成金決定「親子の居場所よりどこ」

令和4年10月に文部科学省が発表した調査によれば、令和3年度の全国小中学校の不登校児童生徒数は、過去最高の約24.5万人となったことが分かりました。こうしたなか、横須賀にも不登園、不登校、行きしぶりなどにより、生きづらさを感じている子どもやその親が社会から孤立しないよう防ぐことを目的に『親子の居場所よりどこ』ができました。

共同代表の芹田さんは、「自分たちのような状況にあると、どうしても孤立しがちだからこそ、誰かとつながって、声をかけ合えるような関係を築いていけたらいいなと思っています」と話してくれました。

コロナ禍も相まって、ますます人と人とのつながりが希薄になる昨今ですが、市社協では助成を決定し、この団体の活動を支援していきます。

活動日 : 親の会 / 毎月第3土曜日13時～15時 野外活動 / 毎月第4水曜日11時～15時

参加費 : 1回あたり大人100円、こども100円(何人でも) ※野外活動は保険代を含む(交通費などは別)

その他 : 途中参加・退出自由。年齢制限なし。親のみの参加も大歓迎

問合せ : yoridoko.yokosuka@gmail.com



最良の結果を導き出す良きパートナーでありたい。

Instagram & Twitter

日々の出来事を
発信中!
お気軽に
覗き見&フォロー



企画 印刷 撮影 Movie

デザイン(Graphic・Web)

〒239-0807 横須賀市根岸町2-32-18 オギノビル3F
 TEL.046-838-0555(代) FAX.046-834-3331

株式会社 アド・マインド

E-mail: toiawase@admind.jp URL: <https://admind.jp>





お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも総合福祉社会館2階です。相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。12時〜13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

所得の低い世帯、お年寄りや障害のある方の世帯を対象に、安定した生活を送ることができるよう資金貸付の相談を行っています。

【資金について】

- ①お困りの内容によって資金の種類が異なります(一般生活費の貸付けはありません)。
- ②資金の種類によって民生委員による相談援助が行われます。
- ③原則として連帯保証人が必要です(市内在住の方)。

【予約制】窓口の相談は混雑していますので、お越しいただく前に必ず電話でご連絡ください。

●毎週月〜金曜日

9時〜11時30分・13時〜16時
予約はTEL(821)1301
地域福祉課 生活福祉資金担当



住宅改造相談

ちよとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会の建築士が相談に応じます。

【予約制】

●毎月第4水曜日
10時〜15時 市社協相談室
予約はTEL(823)0386
神奈川県建築士事務所協会
横須賀支部へ
受付時間 10時30分〜17時

横須賀市身体障害者卓球講習会のお知らせ

日時：令和5年3月12日(日)
9時30分〜16時
場所：横須賀市総合体育会館サブアリーナ
(横須賀市不入斗町1-2)

参加費：無料
受付開始：9時30分〜9時50分
講習会開始：10時〜
主催：横須賀市身体障害者卓球クラブ
講習内容：①コーチ

- かながわ信用金庫卓球部
- 久里浜卓友クラブ
- 横須賀市身体障害者卓球クラブウイング専任コーチ
- ②持ち物
ラケット・上履き
昼食(1階に食堂があります)



*事前申込不要ですので
当日直接会場へ
お越しください

ありがとう

社会福祉のために、温かい寄付がありました。(敬称略)
令和4年9月1日〜11月30日

明石稔、榎根岸工務店、16ミリ
試写室

大坪輝子、手話サークル逸見、
鈴木孝芳、山崎峰崇、藤井美由紀

本町デイサービスセンター、コー
ル・アルカディア、家庭倫理の会
横須賀市、横須賀市教育指導課、
手話ダンスグループ「ゆらぎ」、
中井幸恵、匿名

寄付金 5件 三五、八六〇円
物品 20件

あとながき

古着という言葉聞いて、何を連想しますか?私が学生の頃だった90年代はヴィンテージ古着がブームになり、友達付き合いで原宿などに洋服を買いに行っていた記憶があります。一方、私の母親は「誰が着たかわからない洋服を買ったなんてとんでもないわ!」と、どちらかというと古着に否定的です。

コロナの影響かSDGs(持続可能な開発目標)の影響かは分かりませんが、再び古着がブームになっています。昨年は、東京都内の古着屋の出店数が過去最多との情報も耳にしました。ただ今回の古着ブームは前回とは少し違って、いるように思います。スマートフォンが浸透しフリマアプリ(*1)で古着などが、どこか

*1 フリマアプリ

「オンライン上でのフリママーケット」のように、主に個人間の物品売買を行うスマートフォンのアプリ。

*2 ファストファッション

流行を採り入れつつ低価格に抑えた衣料品を、大量生産して短いサイクルで販売するブランドやその業態。ファストファッションは「定価の古さと質を兼ね備えた逸品」という意味をもつ。

